

第1回宇宙エレベーターロボット

山形県競技会



宇宙エレベーターロボット競技会とは

1979年にSF作家のアーサー・C・クラークが小説「楽園の泉」で発表し、2012年、(株)大林組が2050年に宇宙エレベーターを実現させると発表し世界を驚かせました。30人乗りのかごが、高度3万6000キロのターミナル駅まで1週間かけて向かうという壮大な計画です。夢の実現には、世界中の人たちが力を合わせ、新しいアイデアや技術を駆使し、問題解決を図って行かなければなりません。この競技会では、プログラミングロボット教材のマインドストームを使って宇宙エレベーターロボットを製作し、昇降実験を行いながら物資や人を運ぶときの問題点、安全について考えることを目的としています。

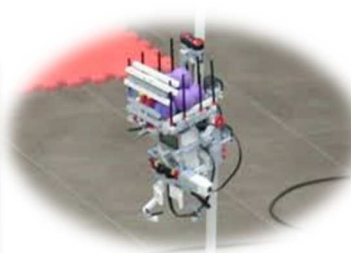
日時 平成30年12月23日(日)
場所 山形県産業科学館 2階フリースペース
主催 やまがたロボットクラブ
共催 やまがたメイカーズネットワーク
参加対象 小中学生
参加費 無料
持ち物 (製作講習会はありません。)

各自完成させたロボット、PCをお持ち下さい。

競技規則 全国大会規則に従う。

ただし今回はステーションに仕切りはつけません。

日程 10:00 選手集合、会場準備
~13:00 コース開放、調整時間
13:30~ 競技会開始
15:00 表彰式、会場撤収
15:30 選手解散



参加希望の方は下記まで
メールでお問い合わせ下さい。

問い合わせ先 **やまがたロボットクラブ**

e-mail: csc@jan.ne.jp